

世界にたったひとつ、

👉 **今回はコレ!**

〈第12回〉  
本格手製本でつくる豆本

〈第11回〉の風景(終了)  
本かがり(手縫い糸かがり)

# 製本教室

第12回



製本愛。

創元社 本づくりセミナーでは、ふだんあまり馴染みのない本づくりを体験してみたいかたへの入門編として、製本教室を開催します。製本というのは、本がお店に並ぶ前の最終工程。完成度を大きく左右する、とても肝心の技術です。といっても、本教室はかたたくるしいことはほとんどぬき！みなさんのアイデアをいかして、自分だけの一冊をつくり上げてください。初心者のかたにもやさしく、くわしく、プロの講師が一生懸命お教えします。

●創元社 本づくりセミナー

## 製本教室 〈第12回〉

「本格手製本でつくる豆本」

◆日時 2013年5月14日(火)

18時30分～21時00分

◆会場 創元社本社4階セミナールーム  
(地図・詳細は裏面をご覧ください)

◆参加費 3000円+材料費1000円

◆定員 30名

◆申込み締切 2013年5月9日(木)

※詳しいお申込み方法は裏面下部をご覧ください。

あなただけの本を手づくりしてみませんか？

〈第10回〉の風景(終了)  
貼り箱をつくる(蓋つき)

〈第9回〉の風景(終了)  
絵本製本(上製手縫いミシン縫じ)

〈第8回〉の風景(終了)  
フランス装と小口マール染め

〈第7回〉の風景(終了)  
お気に入りの文庫本を上製本にする

〈第6回〉(終了)  
和本をつくる(四ツ目縫じ)

- ◆〈第5回〉(終了) 青丸で上製本(表紙3点貼)
- ◆〈第4回〉(終了) 豆本と豆本ケース(マール染め)
- ◆〈第3回〉(終了) フランス装と小口マール染め
- ◆〈第2回〉(終了) あなただけのアルバム(写真集)をつくる
- ◆〈第1回〉(終了) お気に入りの文庫本を上製本にする



はじめてのかたでも、大丈夫。  
新聞やテレビでも紹介された  
プロの職人が、  
順を追って、  
ていねいに指導いたします。

## 〈第12回〉「本格手製本でつくる豆本」

「豆本」とは、手のひらに乗るくらい小さな本のことをいいます。日本では江戸時代後期からつくられ始め、現在も工芸品として、雑貨として、多くの人に愛好されています。

製本教室の〈第4回〉では、「豆本と豆本ケース(マーブル染め)」をテーマに開催し、大変好評をいただきました。その中で、「折りからやってほしい」「糸かがりをやってみたい」といったお声が多数ありました。

今回は、本文の〈折り〉(紙を三つ折りにして丁合する工程)から、〈糸かがり〉(針と糸で本文を縫じる工程)〈表紙貼り〉と、本格的な手製本の工程をひとつずつ体験していただきます。約40×50mmの手のひらサイズですが、花布やスピン(しおり)もついた、まさに製本技術の詰まった上製本が出来上がります。



かがり台を使わない、完全手縫いの糸かがりです。これまでで製本教室の集大成ともいえる内容となっております。もちろん、初めてのかたでも丁寧に教えさせていただきますので安心ください。  
みなさまのご参加をお待ち申し上げております。

### 今後のラインナップ

※以下は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

#### 〈その後続々〉

鋭意検討中！体験したい製本(やそれにかかわるもの)があればお知らせください！

### 過去のラインナップ

※すでに終了しています

- (第1回) お気に入りの文庫本を上製本にする
- (第2回) あなただけのアルバム(写真集)をつくる
- (第3回) フランス装と小口マーブル染め
- (第4回) 豆本と豆本ケース(マーブル染め)
- (第5回) 背丸で上製本(表紙3点貼)
- (第6回) 和本をつくる(四ツ目縫)
- (第7回) お気に入りの文庫本を上製本にする
- (第8回) フランス装と小口マーブル染め
- (第9回) 絵本製本(上製手縫いミシン縫)
- (第10回) 貼り輪をつくる(蓋つき)
- (第11回) 本かがり(手縫い糸かがり)

### ●開催場所 (株)創元社 本社4階セミナールーム

〒541-0047 大阪市中央区淡路町4丁目3-6



・地下鉄御堂筋線「本町駅」下車、2号出口から徒歩約4分  
 ・地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」下車、13号出口から徒歩約5分  
 ※お申込みの際には、「セミナー名、お名前、ご住所、ご連絡先(お電話番号、メールアドレス等)」を必ずお知らせください。



講師 大光製本所 寺内光浩社長

以前、寝ている私のほったたをピントされるような体験をしました。ドイツで「手製本」の職人さんに話を聞く機会がありました。当初「この時代に古くさいなあ」と思うほどだったのですが、説明を受けるうち、手製本の技術や伝統に誇りを持っていられるのが、痛いほど伝わってきました。目が覚める思いでした。それ以来、「手づくりのよさ」が頭から離れません。

機械とちがって、一から手でつくる製本というのは、自分のアイデアもいきいきします。「しもたー まちがえた」ということも、おもしろい結果になることがある。手づくりだと「気持ち」も入りますよね。本には、背や頭、口や耳や喉といった名称があるんですよ。本も人間とおなじなんです。気持ちをこめて育てるようにつくる。それはもう大切に。

今回は、人気の豆本づくりに挑戦していただきます。手のひらサイズとはいえ、つくりは本物の書籍と同じ。紙を折るところから、一冊の本が出来上がるまでの本格手製本の流れを体験できます。ふるってご参加ください。



TV(NHK、民放各局)や雑誌「デザインのひきだし」でも紹介されています

### ●お申込み・お問合せ

#### 株式会社 創元社「セミナー・製本教室 係」

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6

電話：06-6231-9010 / ファックス：06-6231-9021

メール：seminar@sogensha.com

ホームページ <http://www.sogensha.co.jp/>